



学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒
(徳) 正しく判断できる生徒
(体) 心身を鍛える生徒
<No. 6> 平成30年8月28日

さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡2-18-13

TEL048-861-3203 (学校)
866-5789 (相談室)
<http://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>

努力は足し算、協力は掛け算

校長 今溝 良司

6月中に梅雨が明け、これまでに経験したことのない猛暑・酷暑の日が続き保護者の皆様にもご心配をおかけしたところですが、部活動等も午前中のみ活動とするなどの措置をとり、何とか夏休みを切り抜けたというのが正直なところですが。そんな中にあっても白幡中生の活躍は方々で見られ、吹奏楽部のコンクール、野球部の夏季大会での健闘、水泳部3年生2名の関東大会出場、いじめ防止シンポジウムに繋がったこども会議、ダンス部の東日本大会金賞受賞(3年連続全国大会出場決定)等々日々の練習の成果を發揮してくれました。今年は7月に文化祭が行われ、まだ8月中とはいえ白中3祭のひとつの体育祭に向けての準備は始まっています。学級の応援旗をつくり出場メンバーも決定しました。多くの生徒たちのお目当ては学年種目やリレーなど集団競技でしょうか。「努力は足し算、協力は掛け算」とは、私が以前勤務した学校の1年生の生徒が生徒会本部役員選挙に立候補した際に選挙ポスターに書かれていた言葉です。これからの生徒会活動を、生徒一人ひとりが〇〇中をもっと良い学校にしようと思い活動する努力(積み上げ)と、そのような生徒が一致団結し協力することで相乗効果を生み、強い推進力としようとの思いからポスターに書いたのだと想像します。以来私はこの時期になると紹介していますが、それぞれの努力は一つひとつ重要な要素であり、その努力をお互いに認め合い、気を揃えて協力しあうと何倍もの効果が生まれると解釈しますが、どのクラスでも集団で行うことの難しさや一回でも成功した時の感動を味わい、掛け声やタイミングの取り方など簡単な約束をみんなが実行することの大切さに出会うでしょう。生徒たちの声も、はじめのうちは「誰だよお!」「なんでだよ!」から「ドンマイ!」「もう一度!」ときっと変容するでしょう。

2学期は学校行事が目白押しですが、生徒会や部活動を中心にいわゆる代替わりの時期を迎えます。生徒会役員選挙や新人戦、3年生は進路についての実務や各種のテストに追われる日々を迎えます。先ほどの集団演技の成功とも重なりますが何事もカギを握るのは、「簡単な約束」=日々の繰り返し=家庭・学校の日常の生活こそ大切ですね。